

ロシア為替週報

2021年12月6日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(11月27日～12月3日)

USD/RUB: 73.300～75.122

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、原油価格低迷を他所に、予想外の堅調推移。新型コロナ変異種(オミクロン株)の確認＝世界景気(資源需要)減退懸念を背景に、26日以降、大きく水準を切り下げた原油は、2日、OPEC+が減産規模縮小＝増産を見送らず、予定通り日量40万バレルの減産規模縮小を決定したことで更に下押し、一時は3ヵ月超ぶりの安値となる65ドル/バレル台まで下押しした。しかし、週明け29日以降、ルーブルは水準を切り下げることなく、ほぼ一貫した堅調推移を続けた。ルーブル堅調の理由を敢えて挙げるなら、ロシア中銀による大幅利上げ期待の高まりを指摘することはできた。30日、同銀ナビウリナ総裁は、「金利据え置きから100b.p.利上げまでの選択肢を検討する(注)」と述べた。更に、「金利据え置きは可能性の低い選択肢だ」と付け加えたことが、「大幅利上げに踏み切る」との思惑を高めた。加えて、1日発表された週次CPI統計(～11月29日)が、前週比+0.46%と4ヵ月ぶりの高い伸びを示したことも、大幅利上げ観測を補強したものと考えられた。一方で、利上げ期待感の高まりとは裏腹に、並行してルーブル建ロシア国債(OFZ)は堅調気味に推移。水準自体は決して高水準とはいえなかったものの、ロシア株価指数(MOEX指数)も、OFZも、この間、何故か堅調を維持したことも、ルーブルの押し上げ要因にはなったであろう。なお、主要国の物価、金融政策を巡る思惑は、この間、主要通貨の値動きに大きな影響を与えたが、ルーブルを含む新興市場通貨全般は、何故か、目だった反応を示さなかった(後述)。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/1	16:00	失業率	10月	4.3%	4.4%	4.3%
	16:00	小売売上高(前年比)	10月	+4.1%	+4.9%	+5.6%
	16:00	実質賃金(前年比)	9月	+2.0%	+1.3%	+1.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(1月4日～12月10日)

USD/RUB: 73.10～74.30

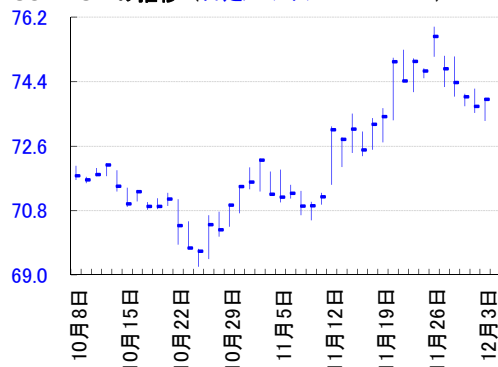
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、方向感を欠いた膠着を中心に、敢えて選ぶなら、ルーブル堅調気味の推移を見込む。米感謝祭(11月25日)を過ぎて、金融市場全般に、疲弊感と動意低下が漂うように感じられる。この間材料視された主要国の物価、金融政策動向も、通常の市場環境下であれば、もう少し腰の据わった反応が見られたように感じるが、実際には、表面的で反射的な値動きしか見られなかった。30日発表されたユーロ圏11月CPI速報値は市場予想を大きく上振れ、史上最高(前年比+4.9%)を記録したが、ユーロ上昇は小幅かつ一時的にとどまった。市場全体が欧州中銀ラガルド総裁の「22年中の利上げの公算は極めて低い(11月3日、12月3日)」との発言を鵜呑みにしているということであろう。30日には、米連銀パウエル議長も、資産購入策の段階的縮小(テーパリング)を加速させる可能性を示唆、3日発表の米11月雇用統計は逆に予想を明確に下振れたが、ユーロや円など主要通貨は、ドルに対しそれぞれ、急落、急騰したもの、その反応は極短期的にとどまった。後者(雇用統計発表後)に至っては、むしろドル全面高で週の取引を終え、ルーブルを含む新興市場通貨全般は、一貫して、何故かほとんど反応を見せなかった。その理由に関しては現時点で定かでないものの、原油安に対するルーブル堅調や、ロシア中銀大幅利上げ期待に対するOFZ堅調も含め、原因と結果の因果関係が、金融市場全般でちぐはぐになっている。こうした環境でルーブル堅調を中心に見込むのは、おそらくは、動意低下と市場参加者減少がもたらしている足元方向感の欠如が、年末年始の投資資金滞留先として、ルーブルのような高金利通貨を選好する可能性を見込むからに過ぎない。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
12/6		国民福祉基金(USD)	11月			197.8bnr
12/7	13:00	外貨準備高(USD)	11月			624.2bn
12/8	16:00	CPI(前年比)	11月		+8.10%	+8.13%
12/10	13:00	貿易収支(USD)	10月		+17.8bn	+20.0bn
12/10-12/14		財政収支(RUB/年初来)	11月			+2140.1bn

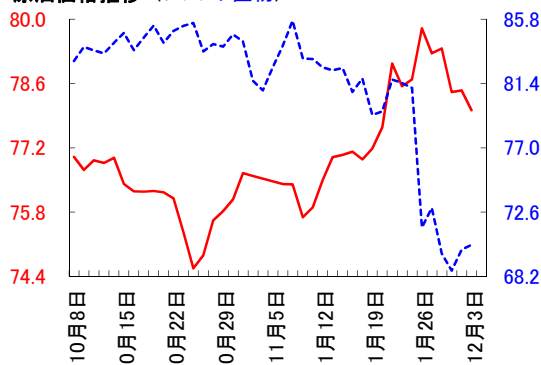
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00～17:00)

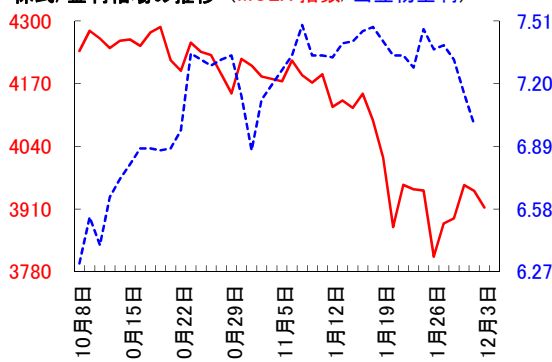


株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

原油価格推移(ブレント直物)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		7.50%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+4.3%
失業率	10月	4.3%
消費者物価(前年比)	10月	+8.13%
小売売上高(前年比)	10月	+4.1%
鉱工業生産(前年比)	10月	+7.1%
貿易収支(USD)	9月	+20.0bn

(注) 12月17日の金融政策委員会において

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。